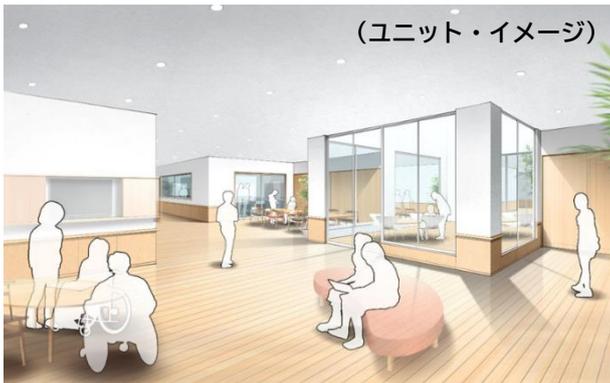


滋賀県立近江学園新園舎 竣工記念式典・内覧会の開催 3月20日(水・祝)午前10時から

令和6年4月1日から供用を開始する滋賀県立近江学園新園舎の竣工を記念して下記のとおり式典を開催します。式典後に関係者・報道機関への内覧会も開催します。ぜひ、御取材ください。



(敷地全体・イメージ)



(ユニット・イメージ)

新園舎概要

- 供用開始 令和6年4月
- 定員 90名
- 建築面積 5,144.08㎡
- 延床面積 7,357.42㎡
- 階数 2階建
- 構造 鉄骨造(屋外トイレ棟：RC造)
- 棟数 5棟(生活居住棟、作業活動棟、大倉庫棟、環境倉庫棟、屋外トイレ棟)
- 特徴 全室個室・家庭的な環境を実現できるユニット*を整備

*ユニットとは、複数の居室と必要な生活設備(風呂・トイレ・リビングなど)の複合体から構成される生活空間を指す。

新園舎竣工記念式典

- 日時：令和6年3月20日(水・祝)10:00~10:45(受付開始：9:00)
- 場所：滋賀県立近江学園 多目的アリーナ(湖南市東寺四丁目1番1号)
- 内容：オープニングアクト(学園生による打楽器演奏)、園歌斉唱、知事挨拶、来賓祝辞、新園舎コンセプトの説明、学園長挨拶
- 出席者：約50名(招待者のみ)
知事、県議会議長、湖南市長、地元・近隣学校関係者、福祉関係団体 ほか

新園舎内覧会

- 日時：竣工記念式典終了後
- 実施方法：式典出席者を10名程度のグループに分けて近江学園の職員が案内(45分程度)

※ 報道機関の皆様には、式典および内覧会の取材要領・注意事項について、別途お知らせします。

新園舎整備の経緯

- 近江学園は、昭和21年(1946年)11月、大津市南郷に糸賀一雄氏らによって創設され、昭和23年(1948年)4月の児童福祉法の施行に伴い県立の児童福祉施設となりました。
- 昭和46年(1972年)に石部町(現湖南市)に移転整備され、今年で52年が経過し、施設の老朽化により、学園の現グラウンドに新園舎が建設されることになりました。
- 県立近江学園の建て替えにあたっては「障害のある子どもの地域生活の実現」を基本方針とし、①一人ひとりの確かな成長を支える施設、②地域での育ちを支える施設、③県の障害児支援に関する中核拠点としての機能を担うべく、家庭的な環境を実現できるユニットが整備されるとともに、児童一人ひとりの状況に合わせた個別対応を行いやすいよう全室を個室とするなど、必要な施設・設備整備を行いました。

(左から田村一二氏、糸賀一雄氏、池田太郎氏 1951.3)



近江学園整備事業の工事スケジュール

- | | |
|------------------------------|-----------|
| ①令和4年(2022年)6月～同年9月 | 先行解体工事 |
| ②令和4年(2022年)9月～令和6年(2024年)3月 | 新築工事 |
| ③令和6年(2024年)4月～ | 新園舎供用開始 |
| ④令和6年(2024年)4月～同年9月 | 解体工事・外構工事 |

問い合わせ先

- 近江学園整備事業に関すること
障害福祉課企画・指導係 担当者：関、中野 連絡先(内線)：077-528-3544 (3544)
- 近江学園新園舎竣工記念式典・内覧会に関すること
近江学園 担当者：松岡、山崎、粕淵 連絡先：0748-77-2811